

# 京極町学校運営協議会だより

第 1 号  
令和3年10月27日発行  
京極町教育委員会  
電話 42-2700

京極町では、学校・家庭(保護者)・地域住民が一体となって「幼児から中学校卒業までの“京極町の子どもたち”を育てる体制づくり」をこれまで以上に推進していくため、令和3年度から「京極町学校運営協議会」を設置しました。

この協議会は、学校長を含め PTA 関係者、スポーツや文化の振興にかかわっている方や団体の代表者などが一緒になって、「未来を担う子どもたち」の学びを一層充実するためにどんなことができるのかを考えていく組織です。

また、学校運営について、地域の皆様にお力を貸していただける「地域とともにある学校づくり」を目指し、町内の皆様へ学校や子どもたちのことを知っていただく広報活動を行ってまいります。

学校を支援するために！

## 【京極町学校運営協議会の役割】

- 学校の教育活動方針(教育目標など)について、意見を述べる。
- 学校の教育活動や支援活動について、話し合う。
- 地域の皆様に学校や子どもたちのことを知っていただく広報活動を行う。

第1回学校運営協議会では、各学校長から小・中学校の教育目標や学習活動の取り組みについて説明を受け、それに対する質疑応答が行われました。

## 京極小学校の教育方針(経営方針)

【学校教育目標(全体目標)】 進んで心と体をきたえる子供の育成

学校教育目標の項目	目指す子供の姿
自ら考え 努力する子 「 <b>知</b> (確かな学力)」	〈1・2年生〉話をよく聞き、元気に話す子 〈3・4年生〉自分の考えをもつ子 〈5・6年生〉自他の考えを認め、よいものを見つける子
思いやりをもち 協力する子 「 <b>徳</b> (豊かな心)」	〈1・2年生〉みんなと仲よくできる子 〈3・4年生〉みんなと助け合うことができる子 〈5・6年生〉自分と同じように他人も大切にできる子
体をきたえ 行動する子 「 <b>体</b> (健やかな体)」	〈1・2年生〉進んで体を動かす子 〈3・4年生〉目標を持って運動する子 〈5・6年生〉健康に気をつけ、自ら体をきたえる子

## 【令和3年度のテーマ】

- 『ほかほか京極小学校』 考えて「ほかほか」・思いやりで「ほかほか」・動いて「ほかほか」
- ◇ 温かい学校・学級づくりをすべての教育活動の基盤とする。
  - ◇ 「ほかほか」という言葉を、教育活動へ積極的に取り入れる。
  - ◇ 道徳教育において、「個性の伸長、礼儀、相互理解・寛容」を重点とする。
  - ◇ 特別支援教育において、通級指導、教諭の研修、教諭間の情報交流、保護者面談を重点とする。

## 【学校が考えていること】

- ・教諭全員が「①子供中心に考える、②授業をきちんとやる、③みんなでそろってやる、④苦手なことがある子供を支援する、⑤保護者に親身になって考える」を常に意識し、教育活動を行う。
- ・校内学習活動の充実を最優先に考えていきたい。

## 京極中学校の教育方針(経営方針)

### 【学校教育目標(目指す生徒の姿)】

- ◇ すじみちをたてて考え 知性をみがく生徒
- ◇ 豊かな心をもち 創造力のある生徒
- ◇ 健康で意志の強い 実践力のある生徒

令和3年度の目標	生徒にできるようになってほしいこと
誰もが大切にされ <b>いきいき</b> と活動できる	・誰もが必要な存在だと気づくことができる ・一人一人の意見や価値観を尊重することができる ・活動の目標を共有することができる
誰もが <b>じっくり</b> と考える授業でわかると実感できる	・様々な情報から自分なりに考えることができる ・自分の学習スタイルを確立することができる ・学んだことを次の活動に生かすことができる
校外の人たちとも <b>たっぷり</b> かかわり一歩ずつ成長できる	・多くの人たちとコミュニケーションを良好にとることができる ・自律した生活を送ることができる ・志をもつことができる

### 【学校が考えていること】

- ・京極中学校の生徒は、小中学校の在学期間(9年間)を同じ仲間と過ごし、とても仲が良い。その反面、中学校卒業後に多くの人と出会うことを考えると「様々な体験活動や校外の人たちとの交流活動」を通じてコミュニケーション能力をもっと身につけてほしい。
- ・生徒には、授業以外の活動からも「考える力(生み出す力)」を養ってほしい。
- ・生徒が、地域を含めたより良い環境の中で部活動を行えるよう指導体制を整えたい。